



栗田工業株式会社

# 個人投資家様向け会社説明会



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



2024  
Sompo Sustainability Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



(証券コード：6370)

2024年12月17日

\* 栗田工業株式会社がMSCIインデックスに含まれること、および本スライドにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による栗田工業株式会社への後援、保証、販促には該当しません。  
MSCIの独占的所有権：MSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

**1959年10月** 大阪府生まれ

**2016年 1月** 栗田工業株式会社 入社

**2018年 4月** 執行役員

経営企画本部副本部長

**2019年 4月** 経営管理本部副本部長

**2020年 4月** Chief Financial Officer (CFO)

**2021年 6月** 取締役

経営管理本部長

**2023年 6月** 執行役常務

取締役 執行役常務  
経営管理本部長 兼 CFO

しろ で しゅうじ

**城出 秀司**



I	会社概要	p 1 -10
II	中期経営計画 Pioneering Shared Value 2027 (PSV-27計画)	p11-21
III	資本政策と株主還元	p22-25

# I | 会社概要

---

商号 : **栗田工業株式会社**

企業理念 : **"水"を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する**



創立

**1949年**

今年で創立**75**周年



本社所在地

**中野区**

(東京都)



連結子会社数

**72社**

(うち海外**45**社)

2024年3月末現在



連結従業員数

**7,981人**

2024年3月末現在

水処理エンジニアリング業界 (国内)

※ディー・フォー・ディー・アール株式会社のホームページより引用

売上高 **No.1**

3,446億円 (2023年3月期 連結売上高)

エンジニアリング業界 (国内)

※株式会社パテント・リザルトのホームページより引用

特許資産規模  
ランキング2023 **1位**

特許保有数 2,643件 (2023年3月末現在)

## これまで

お客様の課題解決を通じて**社会価値を提供**

## これから

潜在的な社会課題をとらえ、**新市場・新事業を生み出し、**  
お客様と社会に**より高い価値を創出・提供する**

1949年

ポイラ水処理薬品事業により創立  
科学的アプローチで最適解を導き出す  
ビジネスモデルを展開

1950年代

水処理薬品、水処理装置、  
メンテナンス・サービスの  
三つの機能で産業の発展に貢献

1960年代

産業排水や生活排水による  
公害問題の解決に取り組む

2000年代

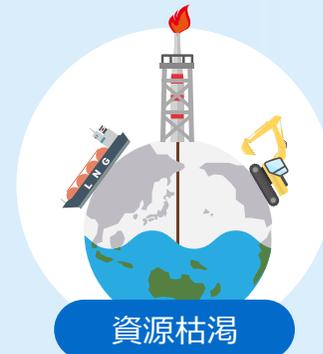
IT技術の進展による  
電子産業の発展を  
超純水供給サービス等で支える



水不足



気候変動



資源枯渇



ジェンダー平等



高齢化・人口減少

## 水処理薬品（ボイラ）

配管内（スケール付着）



エネルギーロスによる燃料費増加



配管内（スケールの分散・除去）



高効率運転、燃料費削減

## 水処理装置（用水処理）



工業用水

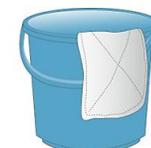
床掃除に例えると



ゴミ袋（大）  
物理的処理

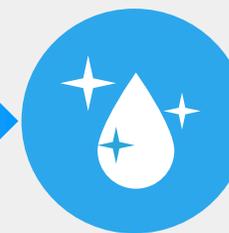


掃除機（小）  
物理化学処理



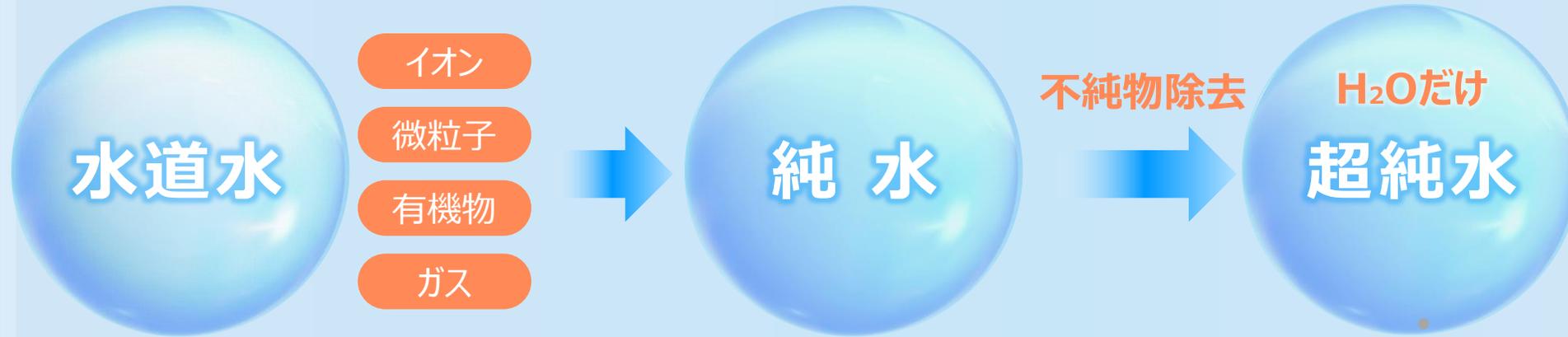
雑巾がけ（微細）  
化学的処理

より高度な処理



処理水

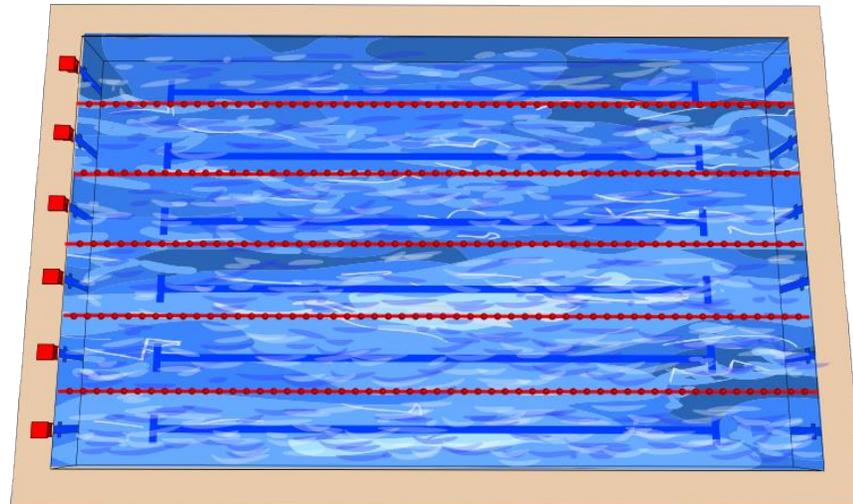
# 水処理のイメージ (超純水)



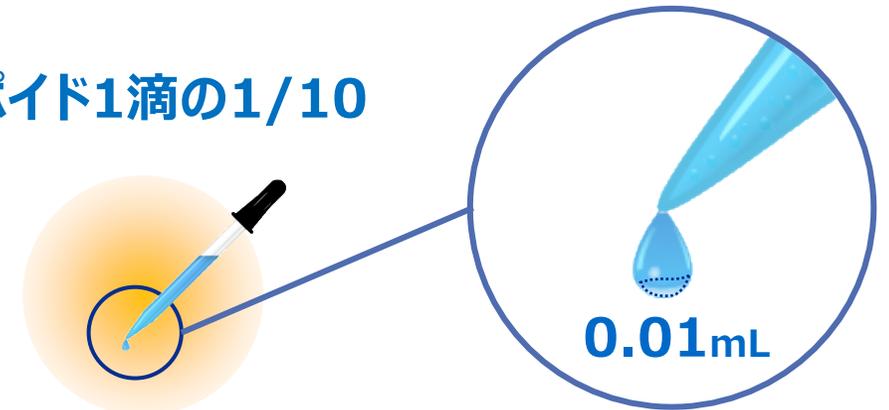
電子部品や半導体の製造などには超純水が必要

オリンピックプール (50 x 25 x 3 m) における不純物量の比較

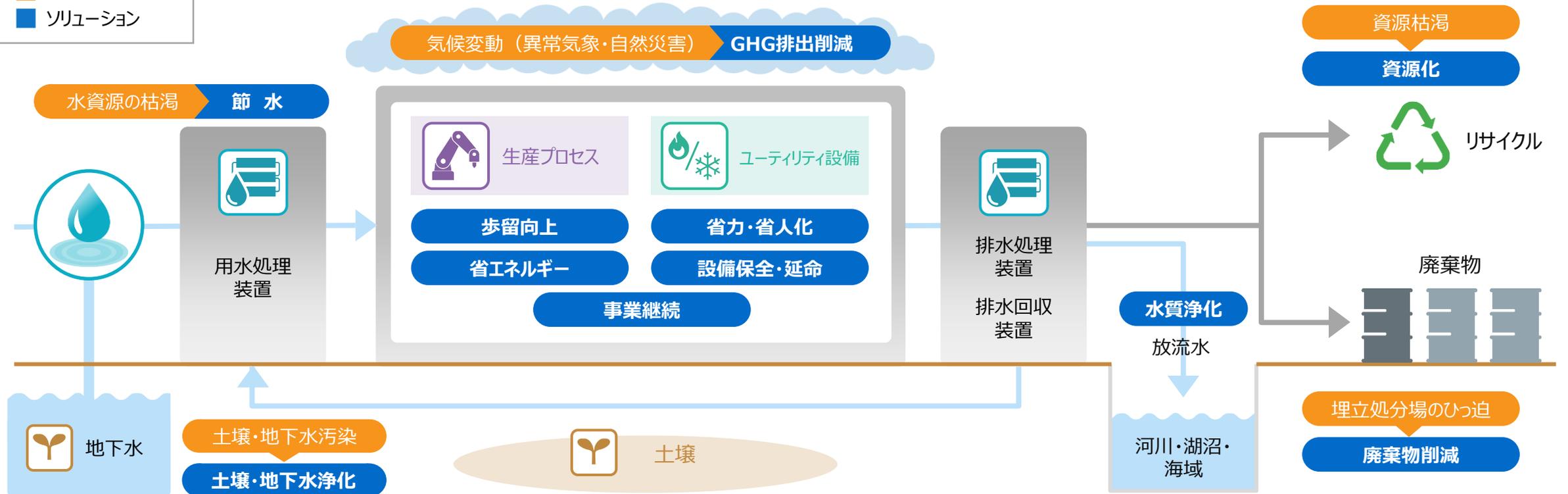
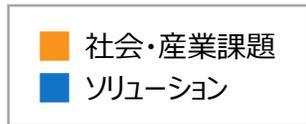
ペットボトル150本分



スポイド1滴の1/10

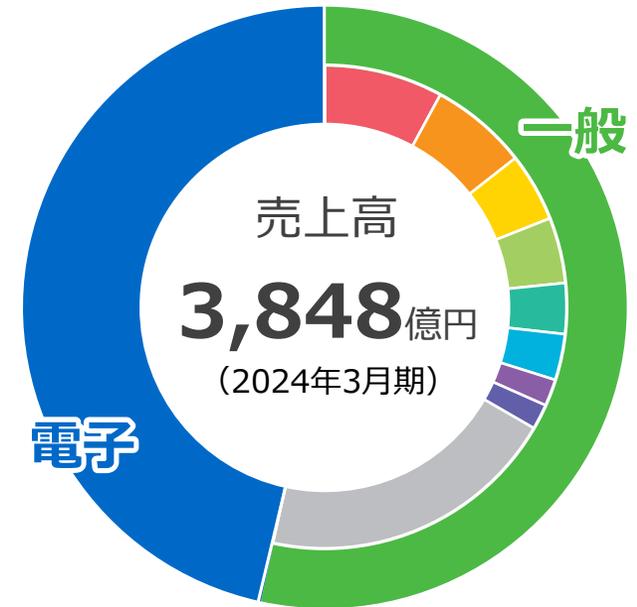


# クリタグループのビジネスモデル





顧客業種別売上高構成比



電子産業

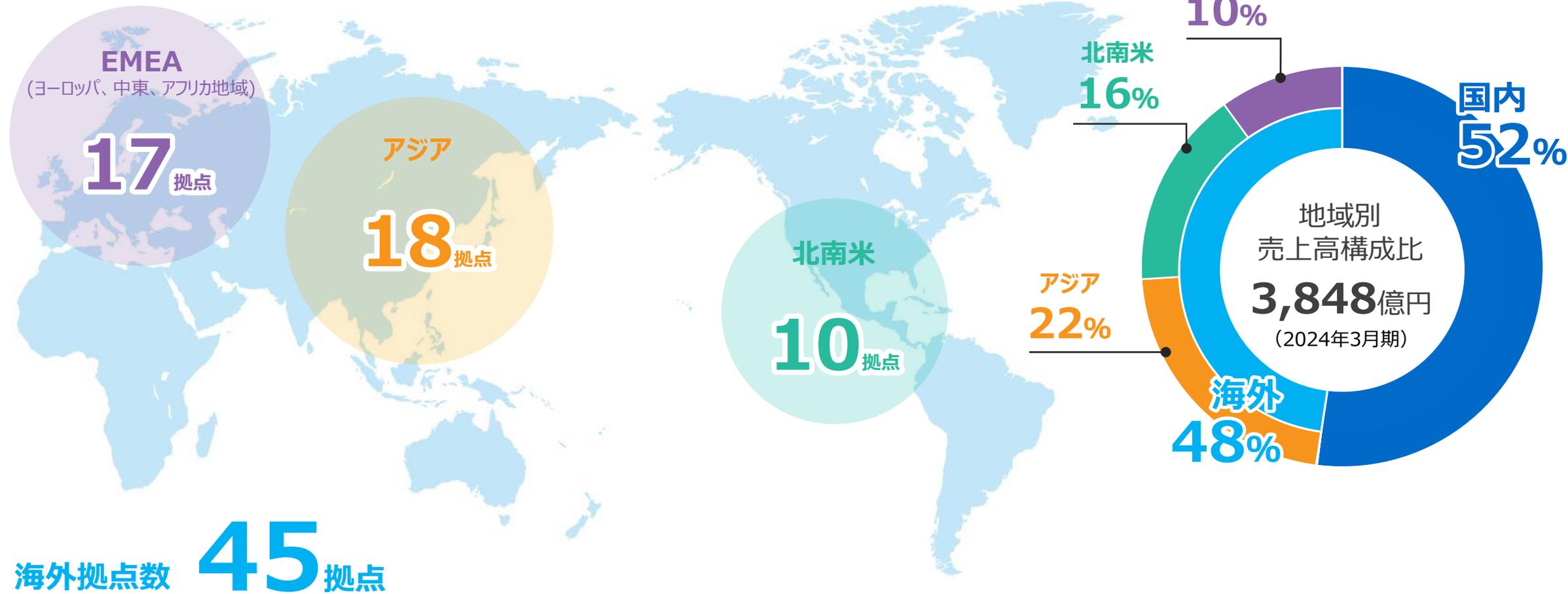
- 半導体、液晶、電子部品

一般産業

- 石油精製・石油化学
- 公共施設
- 紙・パルプ
- 食品・飲料
- 鉄鋼
- 電力
- 自動車
- 医薬
- その他の産業

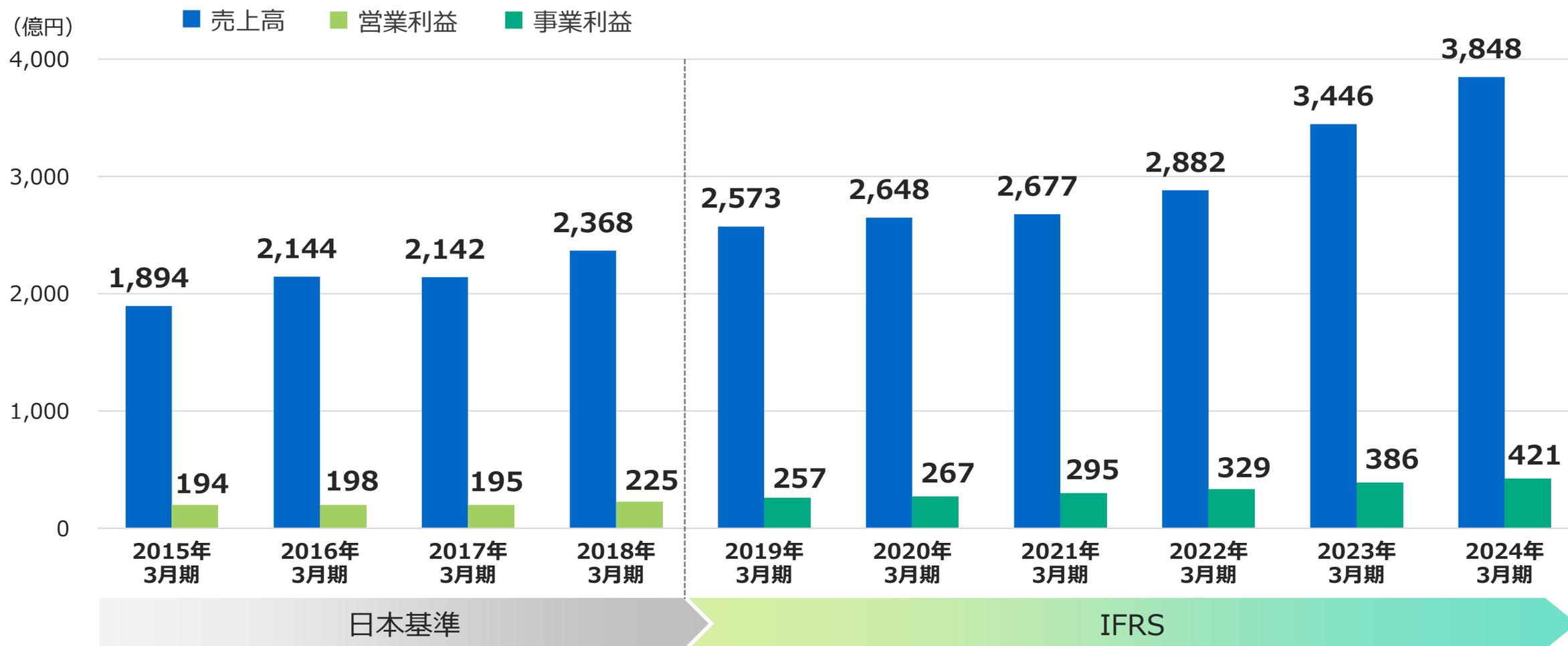
# クリタグループのグローバル展開

## 日本・アジア・北南米・EMEAの世界4極体制を構築



\* 2024年3月末現在

# 売上高および利益の推移



\* 2020年3月期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しています

\* 事業利益：売上高－売上原価－販売費及び一般管理費

## クリタグループの強みの方程式

業界唯一の  
ビジネス構成

水処理薬品、装置、  
メンテナンスの全領域

×

グローバル  
ネットワーク

連結子会社72社の  
グローバルネットワーク

×

高度な  
研究開発力

業界トップの  
知的財産権

= クリタにしかできない水処理ソリューション

環境負荷低減

生産性向上

安定操業

## － 企業ビジョン（2030年のあるべき姿）－

持続可能な社会の実現に貢献する「**水の新たな価値**」の開拓者

### 共通価値の創造

水資源の問題解決、  
脱炭素社会の実現、  
循環型経済社会の構築という  
社会との共通価値を開拓



### 新たな価値の創造

多様な現場から獲得した  
知見を社会の課題と繋ぎ、  
新たな価値を創造



### 技術・サービスの開発

技術・人材を磨き上げ、  
お客様の無二のパートナーとして  
今までにない技術やサービスを開発  
することでお客様に価値を最速で提供

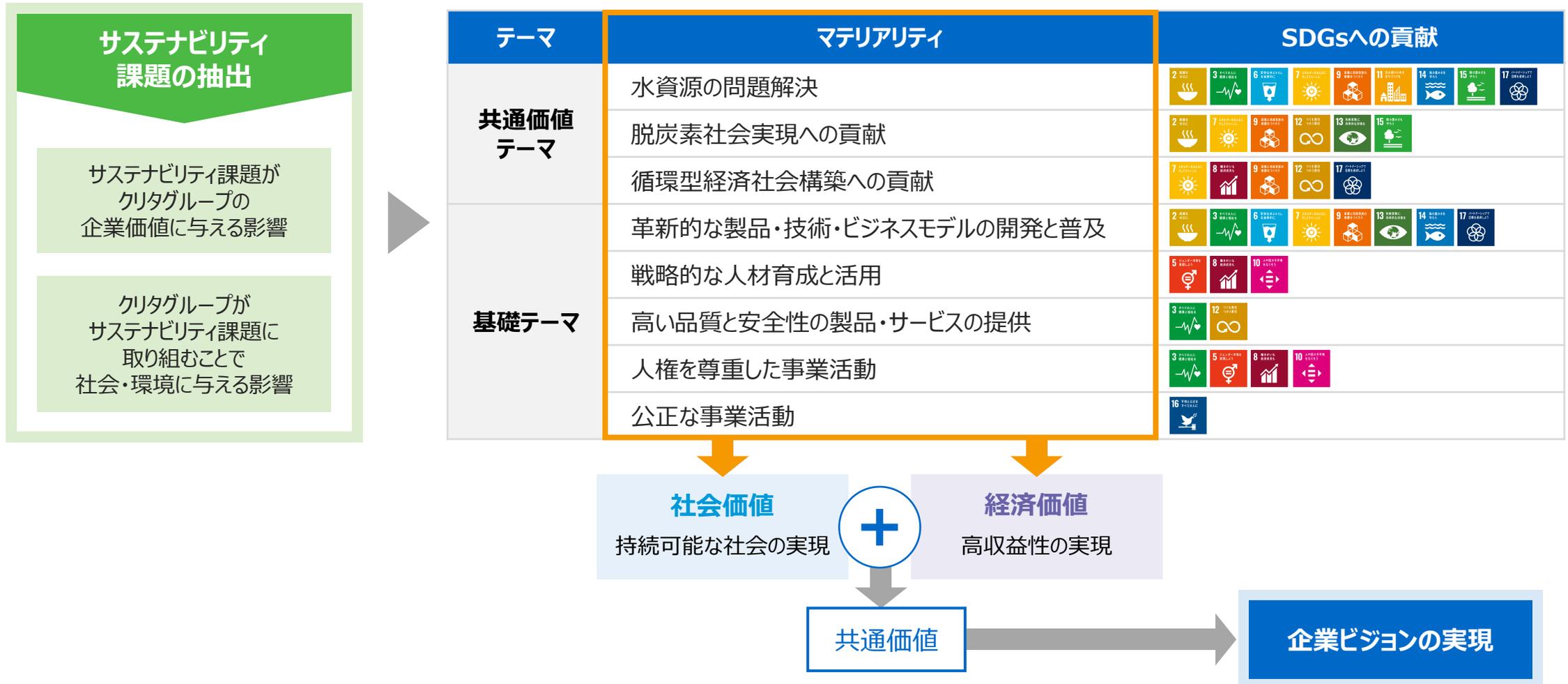


## II | 中期経営計画

Pioneering Shared Value 2027（PSV-27計画）

---

## サステナビリティを経営の中核に据えて、企業ビジョンの実現に向けた重要課題を抽出

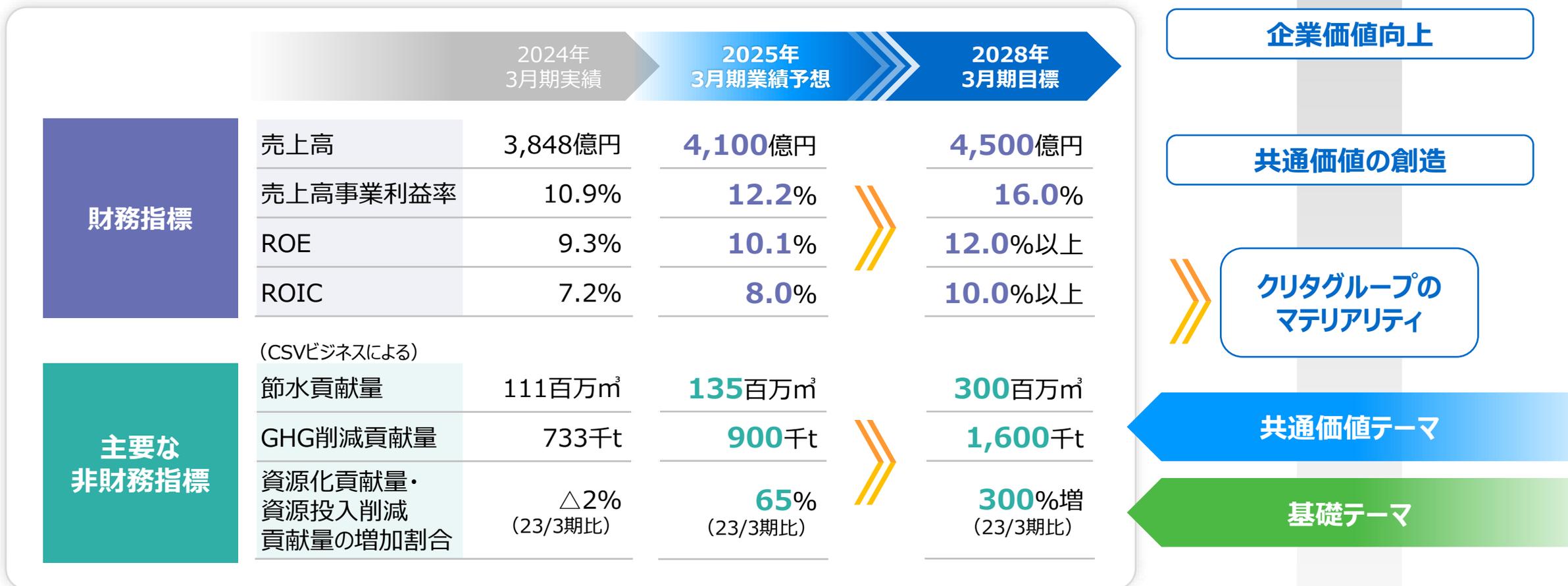


# PSV-27計画の経営目標と初年度の実績

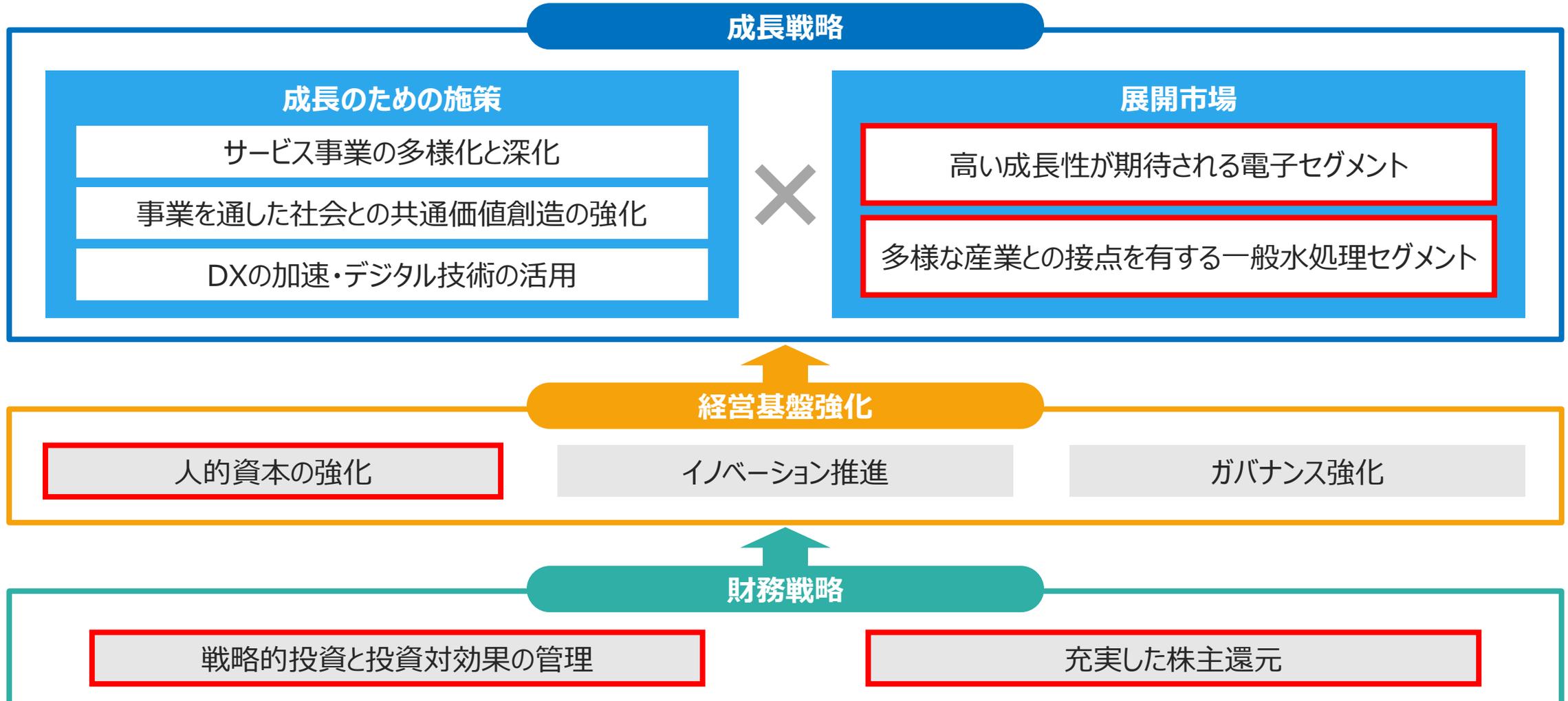
企業ビジョン

持続可能な社会の実現に貢献する「水の新たな価値」の開拓者

中期経営計画 **Pioneering Shared Value 2027** (2024年3月期～2028年3月期)



■ 人材・技術・しゅみを磨き上げ、圧倒的なスピードと課題解決力で、期待を超える価値を切り拓く



## 【重点施策】

水供給事業の進化

欧米における  
新たな事業基盤構築

生産プロセス変革と  
サプライチェーン強化

精密洗浄事業の基盤強化

## 【2024年3月期の進捗】

● 新規2案件の獲得

● 欧州のM&A完了  
● 北米で新規案件進捗

● デジタルツールリリース  
● 需要予測の開始

● 成長投資の実施

## 【今後の方向性】

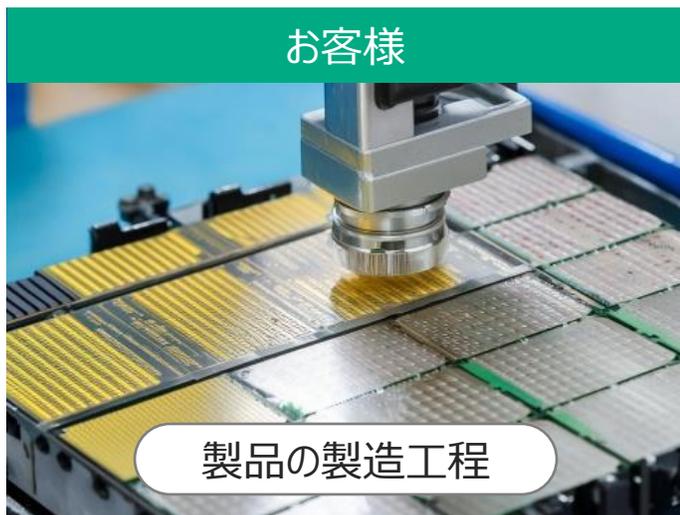
● 新たな顧客層・地域社会への拡大  
● 水供給以外の継続契約型サービス拡充

● グローバル戦略の展開

● 設計自動化による生産性向上

● 新規事業の展開による安定成長

## お客様の工場



お客様のメリット 必要な水質・水量を、いつでも

超純水を供給



使用量に応じた料金

クリタのメリット 長期契約で安定的な収入



システムの建設・保有

お客様のメリット 初期投資が不要

運転・維持管理

お客様のメリット 運転管理が不要、環境負荷低減・コストダウンが可能、経営資源の本業への集中

クリタだからこそできる  
お客様が本当に求めている  
「超純水そのもの」を提供するサービス

## 【重点施策】

## 【2024年3月期の進捗】

## 【今後の方向性】

CSVビジネスの拡大



- 好事例の創出など拡大に手応え



- 顧客価値起点による製品・サービスの強化
- 社会価値起点による新規ビジネスの創出

展開加速のためのデジタル基盤活用



- グループ共通のデータ統合基盤を構築



- グループ横断的なデータの利活用
- お客様コミュニケーションの向上

米国事業の収益改善



- 事業利益率の改善
- 事業基盤の安定



- さらなる収益性向上とコストダウン

循環型経済社会へ貢献する新規事業への挑戦



- 使用済み紙おむつリサイクルの事業化を推進



- 紙おむつリサイクル事業の拡大
- 社会価値起点でのイノベーション創出による新規事業の開発

## CSVとは？

Creating Shared Value (共通価値の創造)

社会課題の解決（社会価値の創造）により、事業成長を図ろう（経済価値の創造）とする企業戦略の概念

## CSVビジネスの定義

従来に比べて、 節水、 GHG排出削減、  
 廃棄物の資源化または資源投入量の削減に  
大きく貢献する製品、技術、ビジネスモデル

### クリタグループのマテリアリティ（重要課題）

-  水資源の問題解決
-  脱炭素社会実現への貢献
-  循環型経済社会構築への貢献

お客様の課題解決を通じて社会課題の解決に貢献する  
CSVビジネスを拡大することで事業成長を図る

## 💧 水資源の問題解決：再生水供給サービス

社会課題	気候変動の影響や人口増加、工業化の進展等により、製造業に不可欠な水資源の不足
ソリューション	工場の多種多様な排水を回収・浄化し、製造工程で再利用可能な水を供給し、節水に貢献

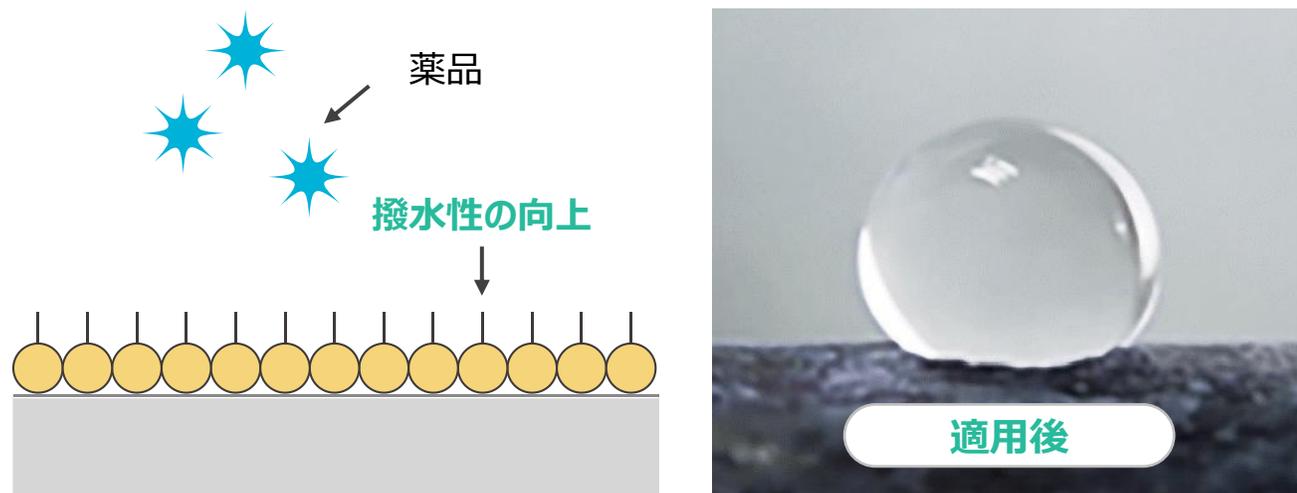


大手電子部品製造のお客様工場では、**上水使用量・コスト約8割減、下水コスト約3割減** (従来比)

## 🌳 脱炭素社会実現への貢献 : Kurita Dropwise Technology

社会課題	GHG（温室効果ガス）排出による地球温暖化、環境配慮技術の導入拡大の促進
ソリューション	蒸気を用いる熱交換器に撥水性を付与し、熱伝達率を向上させ、生産性向上・省エネルギーに寄与

### 「Kurita Dropwise Technology」のメカニズム



### お客様への提供価値

- GHG排出削減
- 生産性向上



## ♻️ 循環型経済社会構築への貢献 : 使用済み紙おむつリサイクルシステム

## 目指す姿 (D&I\*ビジョン)

水と環境を大切に想う多様な人々が、互いの違いを受け入れ、相互作用することで、水の新たな価値を創造し続ける企業グループ

\* ダイバーシティ & インクルージョン

## KGI (重要目標達成指標)

### ● エンゲージメントスコア（従業員満足度調査）の継続的な向上

- a. 全業種平均を上回る会社の割合 : 75%以上 (2028年3月期) / **実績 : 51% (2024年3月期)**
- b. 調査した会社全体でのスコア : 前回調査以上 (2028年3月期) / **実績 : 前回調査以上 (前回+3pt、2024年3月期)**

## 主要なKPI (重要業績評価指標)

### ● 開発人材・デジタル人材・知財人材の充足度

水処理に造詣の深い技術人材（開発人材を含む）とDXを推進するデジタル人材、技術立社を支える知財人材の活用・確保  
目標 : 80% (2028年3月期) / **実績 : 65% (2024年3月期)**

### ● 当社の業務執行に係る経営層に占める女性・外国人・経験者採用者の割合

女性、グローバル人材、経験者採用者の活躍推進 目標 : 40% (2028年3月期) / **実績 : 29% (2024年3月期)**

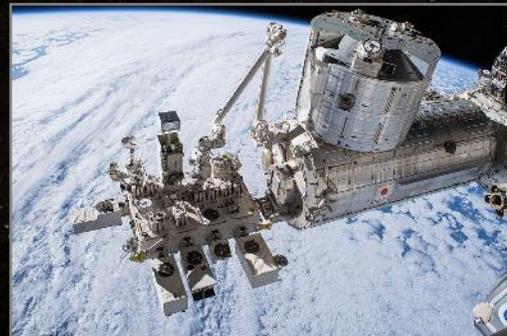
### ● 当社の男性育児休業等取得率および取得期間

従業員一人ひとりが安心して働くことのできる職場環境の整備の一環として、男性の育児休業等取得を促進  
目標 : 男性育児休業等取得率 80~90%程度、取得期間 2~8週間程度 (2028年3月期)  
**実績 : 男性育児休業等取得率 77%、取得期間 56日 (2024年3月期)**



## 非宇宙関連の民間企業として日本初の軌道上実証を完遂

国際宇宙ステーション（ISS）/「きぼう」日本実験棟にて「次世代水再生実証システム」をJAXAと実証試験



## 月面探査プログラム参画等の新たな挑戦

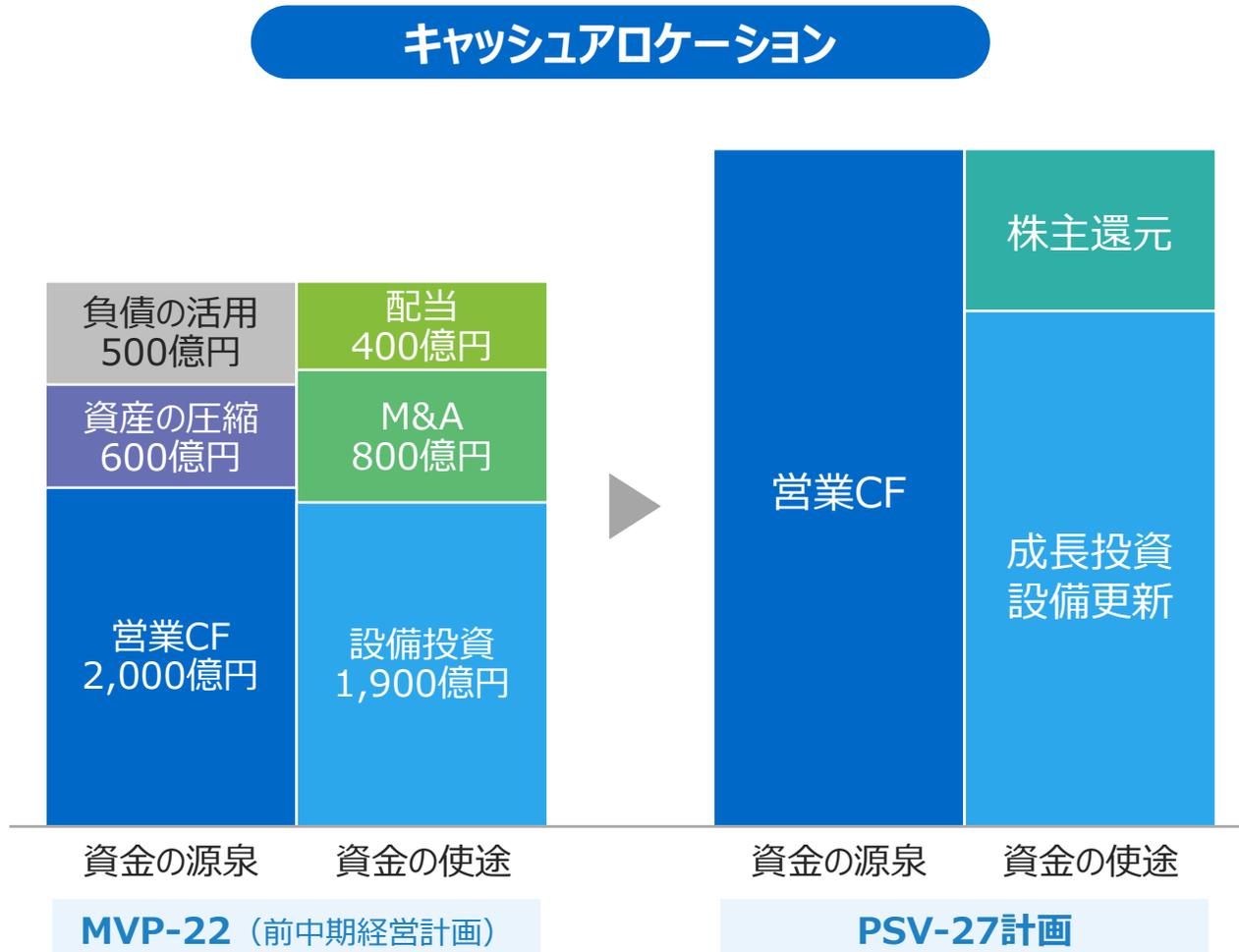
- 月面に向けた水処理システムの開発へ挑戦中
- スターダストプログラムのプロジェクトへ参画
- 月面探査プログラム「HAKUTO-R」にコーポレートパートナーとして参画
- 水電解の月面実証のため、超純水を提供

## Ⅲ | 資本政策と株主還元

---

## 規律ある投資判断と財務管理のもと、成長投資に優先的に資金を活用

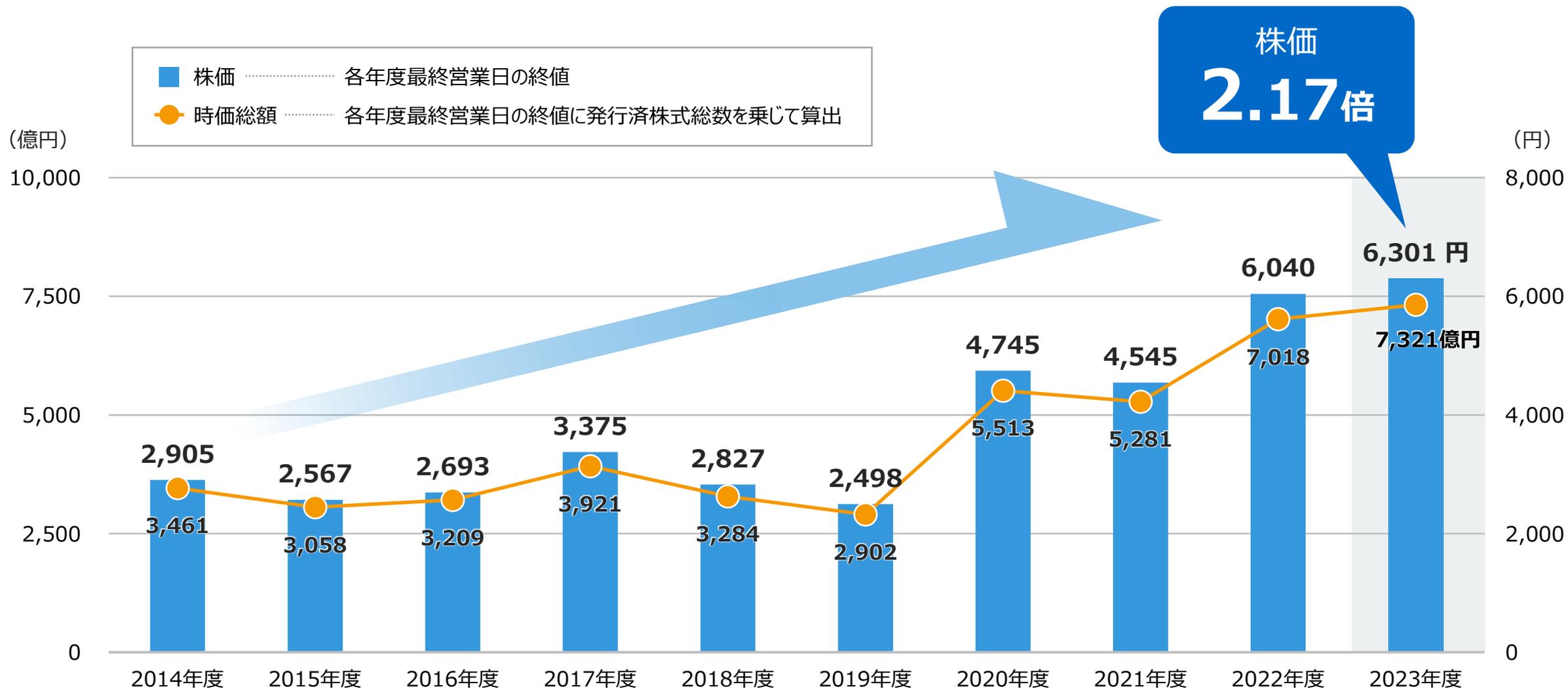
### キャッシュアロケーション



### 資金使途の優先順位

- 1 成長投資**  
 (水供給・資産保有型サービス、地域補完、新事業など)  
 ROIC管理、規律ある投資判断基準による投資管理の強化
- 2 設備更新** (IT投資、生産拠点再編 他)  
 成長基盤の整備に資する投資を継続
- 3 増配の継続**  
 直近5年間通算で配当性向30%から50%の範囲を目安に財務格付けも維持しつつ、長期的に計画的な増配を継続する方針
- 4 自己株式取得**  
 資金需要と株価、資本構成の状況等を鑑み機動的な自己株式取得を検討

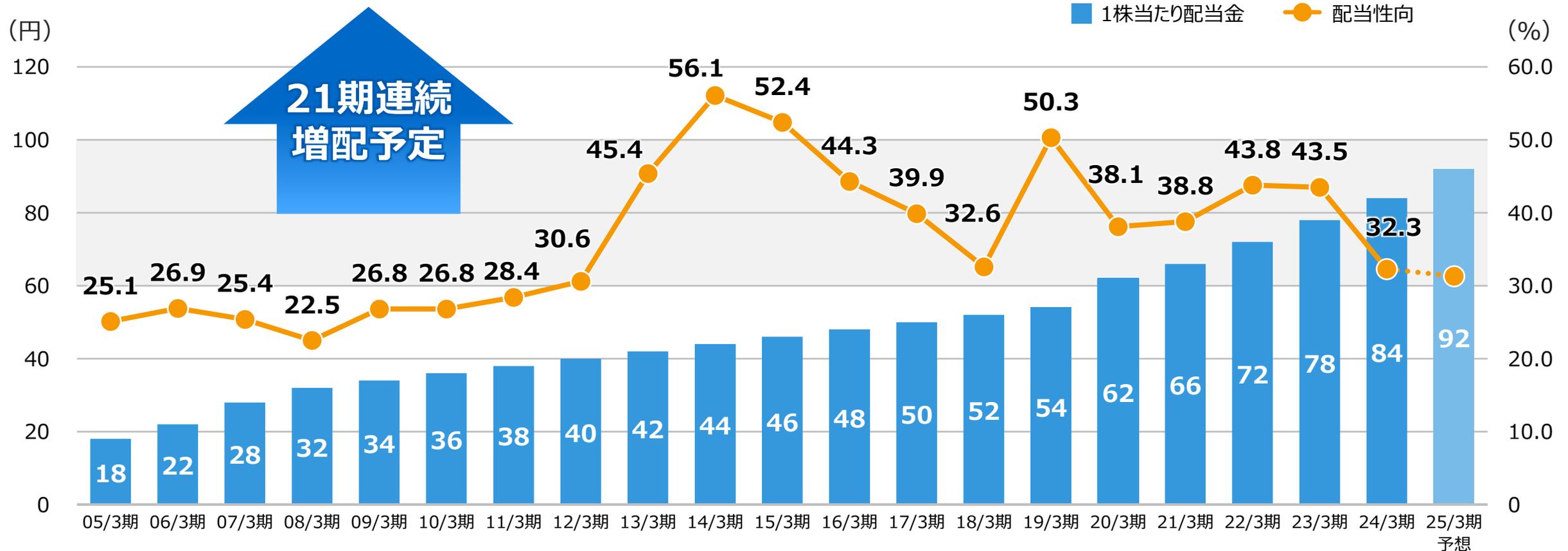
# 株価と時価総額の推移



# 株主様への還元 ～配当方針・1株当たり配当金の推移～

## 配当方針

直近5年間通算で配当性向30%から50%の範囲を目安に増配を継続する方針



当社株式を100株以上ご所有いただいている株主様を対象にご所有株式数と継続保有年数に応じて、「QUOカード」を贈呈しています

## 株主優待制度の内容

優待品	所有株式数	保有年数	贈呈金額	基準日	贈呈時期
QUOカード	100株以上 1,000株未満	—	2,000円分	3月31日	6月下旬
	1,000株以上 5,000株未満	3年未満	4,000円分		
	1,000株以上 5,000株未満	3年以上	6,000円分		
	5,000株以上	3年未満	8,000円分		
	5,000株以上	3年以上	10,000円分		



\*QUOカードのデザインはイメージとなります。



# 個人投資家様向けIRサイト

決算報告や財務データ、IRカレンダーをはじめ、株主総会や統合レポートなど皆様に役立つ情報を掲載しています。

<https://www.kurita-water.com/ir/individual.html>



## 将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。